

インテージ長野など連携

ICチケットの販売・ 認証サービスを開発

市場調査、システム開発のインテージ
長野⇨稲葉上千田⇨は非接触型集積回路
(IC)カード技術を利用し、スキー場
リフト券やレジャー施設の入場券に共用
できるICチケット販売・認証サービス
を、大手旅行代理店の関連会社などと連

「iCOPPa!」
(iCoppa)と名付
けたサービスは、利
用者が希望する施設
の入場券などを事前
にインターネットで
予約しクレジット精
算した上で、施設で
入手のICカードを
使ったり携帯電話の
QRコード(二次元
バーコード)で認証
すれば、ゲートの読
み取り機にカードを

スキー場や レジャー施設 浸透図る狙い

携してこのほど開発した。客足の減少な
ど苦境が続く県内スキー業界の活性化に
もつなげるよう幅広いレジャー分野で導
入施設を増やし、利便性などを売りに消
費者へ浸透を図りたい考えだ。

かざすだけで施設入
場やサービス利用が
可能になる。精算は
利用する施設内でも
できる。

ICカードは電子



「iCOPPa!」の
認証サービスを利用し
たゲート入場の実演

マネー機能を持た
せず、入手窓口は各
施設のほかにコンビ
ニエンスストアを検
討中。カード利用の
情報はマーケティング
に生かすほか、
利用者にはポイン
ト制度など特典を設
ける。

関係者)といい、2
年間で30施設での
導入を目標に、県内
外のスキー場や遊園
地、プールなどに営
業活動を行う。

開発担当者らは
「利用ごとに保証金
を預けてICカード
を借りる既存のスキ
ー場自動改札システ
ムに比べ、販売から
認証、精算まで一体
型のサービスで利用
者の利便性は大幅に
向上する。県内のス
キー場をはじめ幅広
いレジャー業界に相
乗効果を生み出した
い」としている。

iCOPPa!
は、インテージ長野
のほかに旅行代理
店JTBの関連会
社「iJTB」⇨
東京⇨などの連携で
開発。導入経費の目
安は「リフト15基ほ
どの中規模スキー場
で5年間に2億円前
後」(システム開発